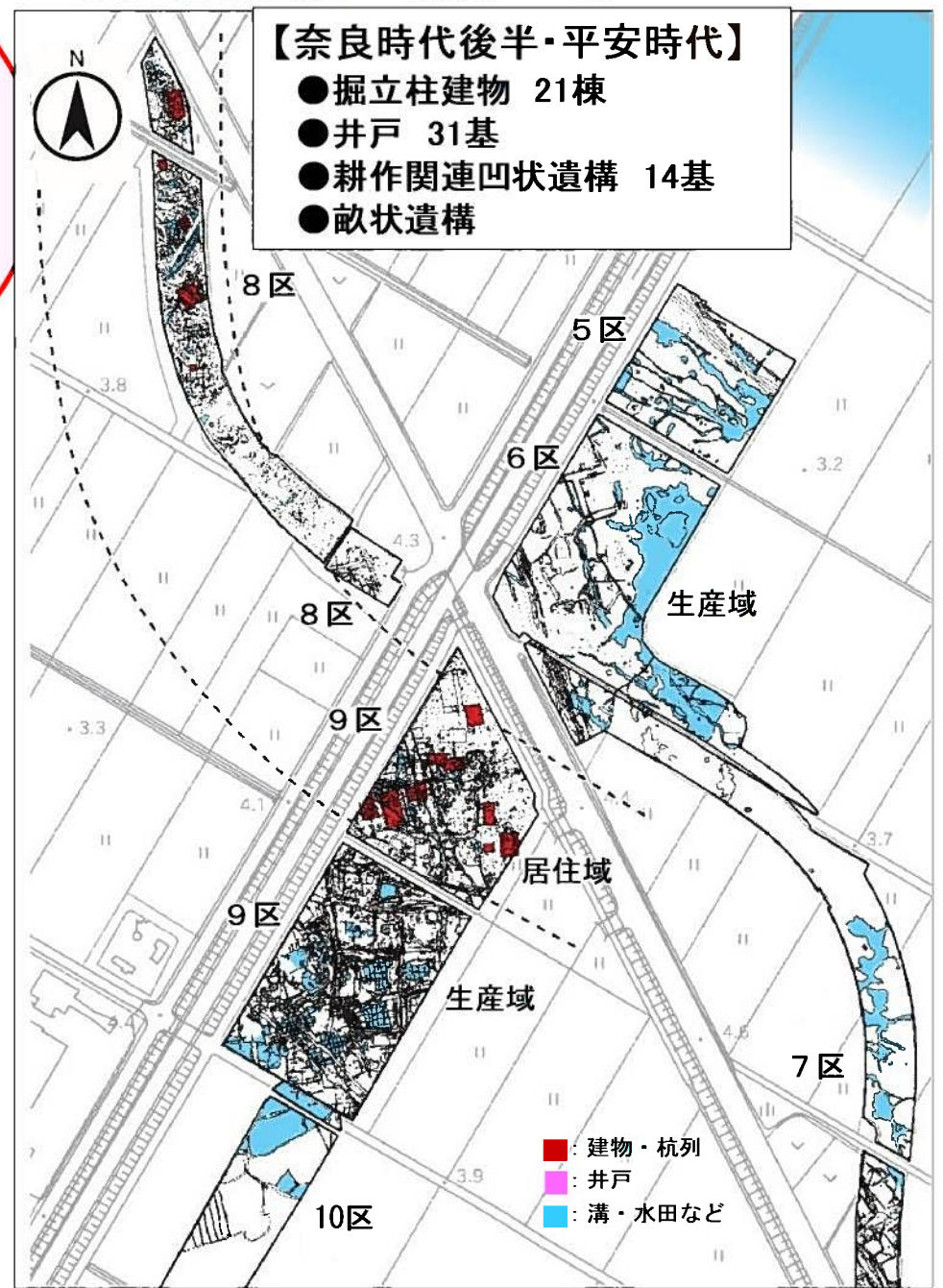
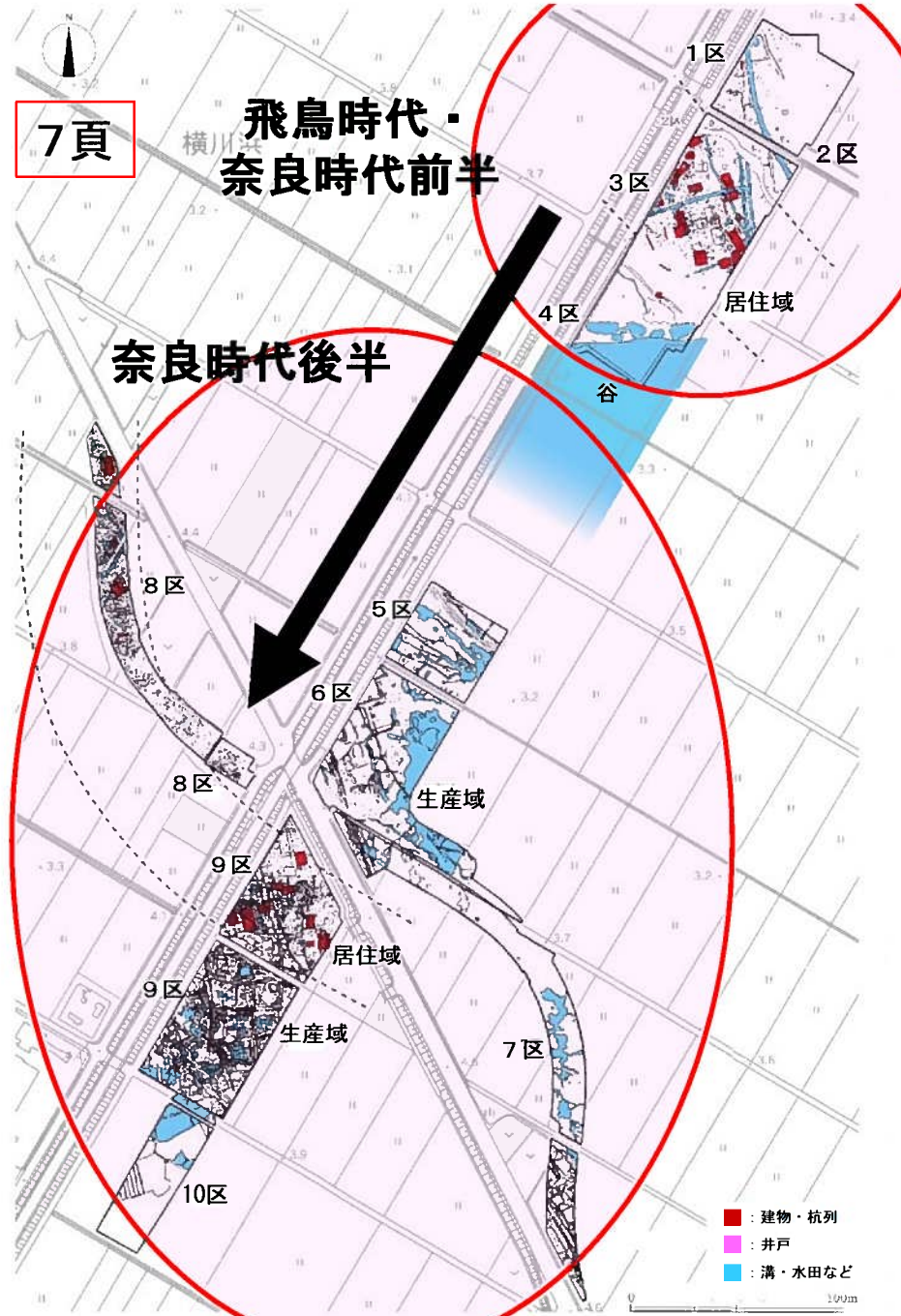
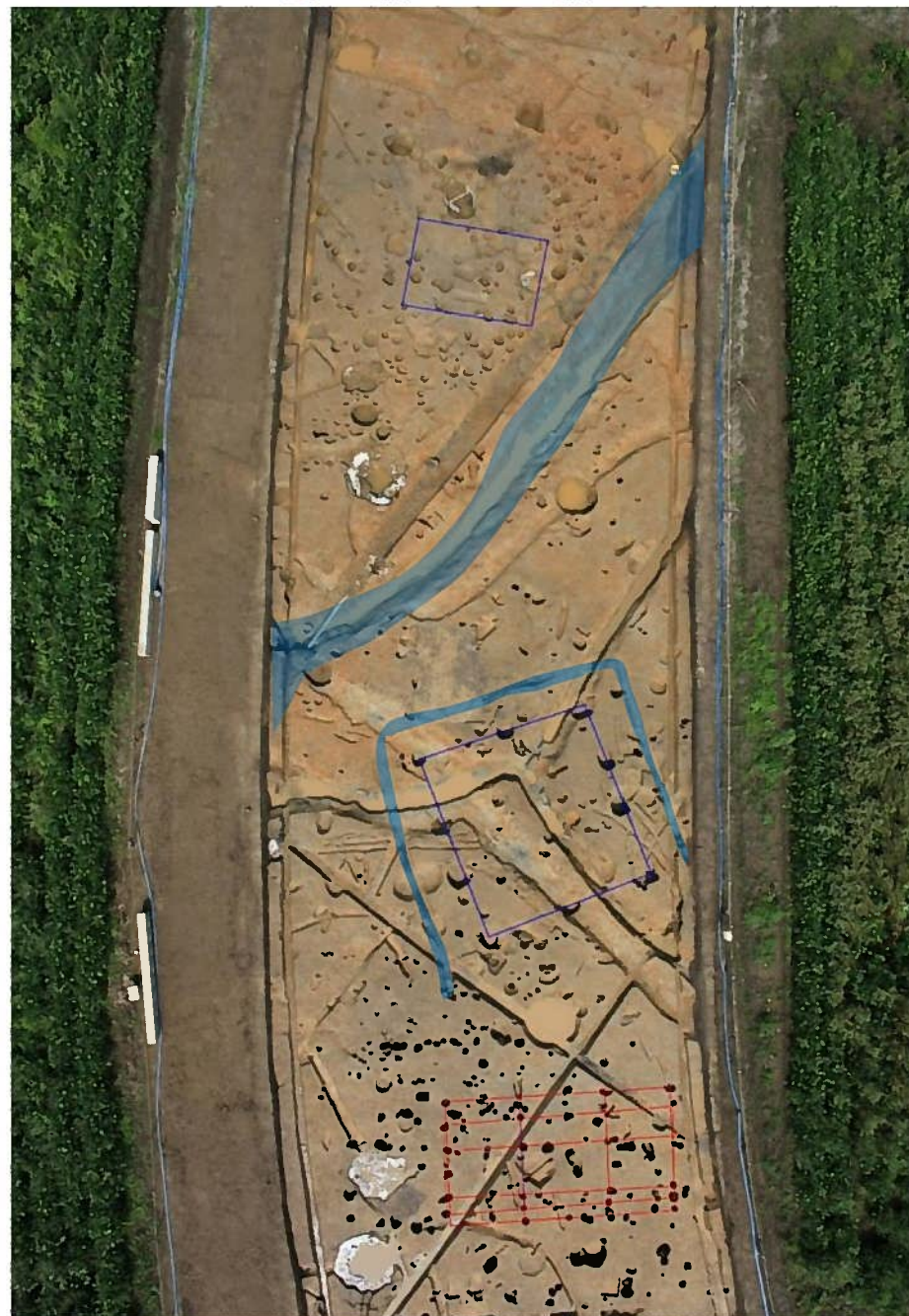
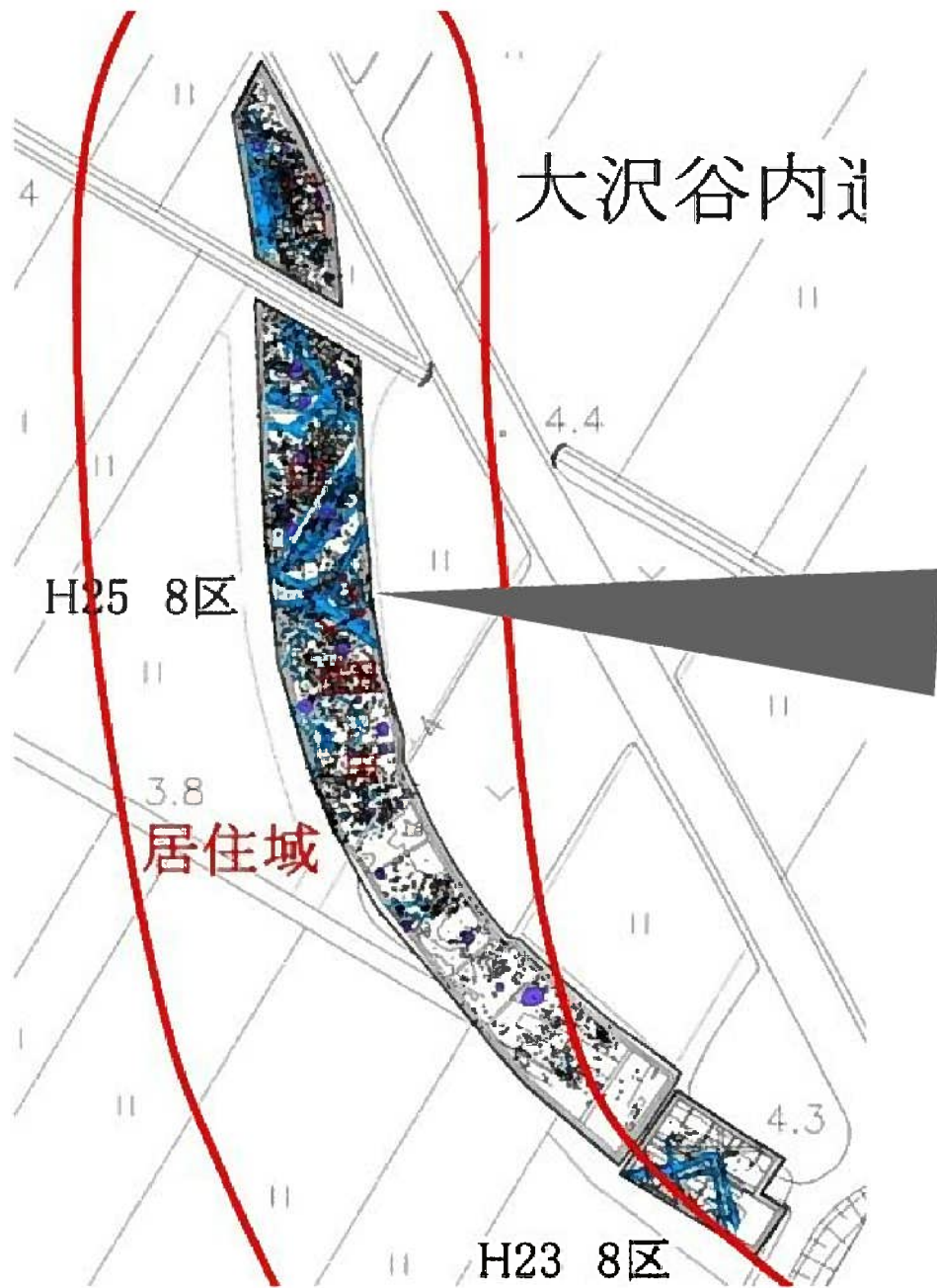


5. 奈良時代後半・ 平安時代(古代)



大沢谷内遺跡平面図(古代—飛鳥時代・奈良時代・平安時代—)



大沢谷内遺跡8区空中写真(上は北)



平安時代の掘立柱建物(大沢谷内遺跡8区 SB4001)



**平安時代の掘立柱建物の柱穴断面
(大沢谷内遺跡8区 SB4001)**

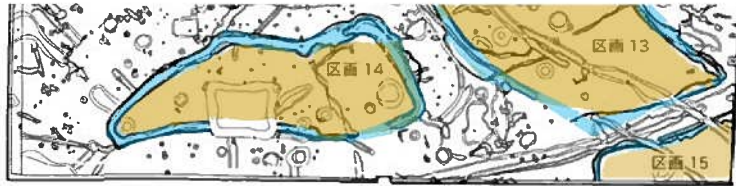


掘立柱建物跡(平安時代・SB4001)柱穴



掘立柱建物跡(平安時代・SB4001)周溝

高い
↑
標高
↓
低い



SD239 · 1295



中世の水田跡



■ : 中世の水田
■ : 用水路

10m

大沢谷内遺跡9区の水田遺構平面図・空中写真



井戸(平安時代・SE2383)



平安時代の井戸断面(大沢谷内遺跡8区 SE2383)



平安時代の井戸(大沢谷内遺跡9区 SE3416)



平安時代の井戸断面(大沢谷内遺跡9区 SE3416)



平安時代の井戸側(大沢谷内遺跡9区 SE3416)

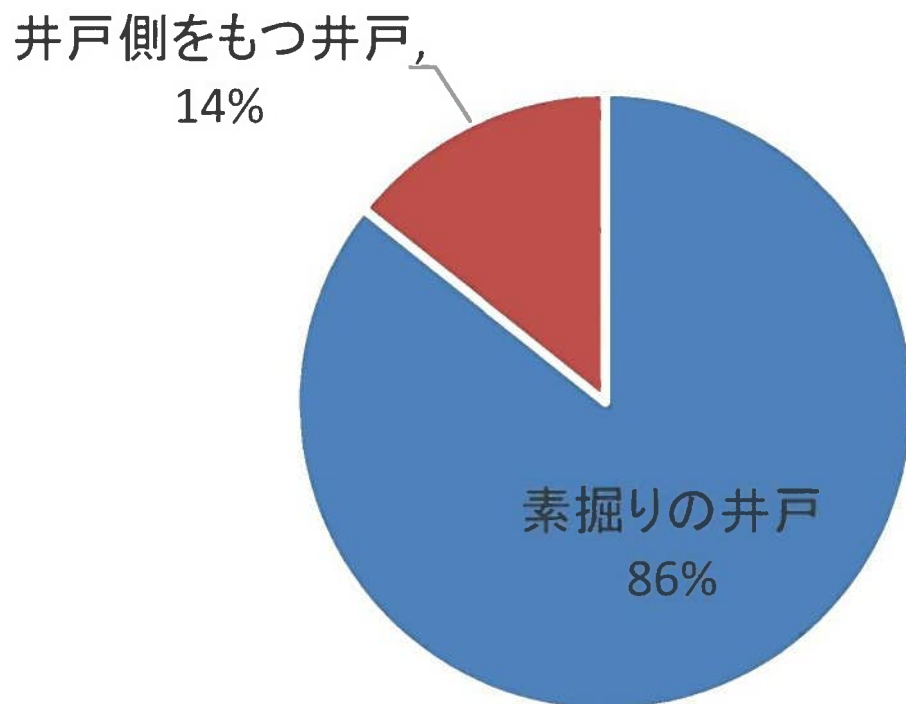


平安時代の井戸側(大沢谷内遺跡9区 SE3416)

井戸側

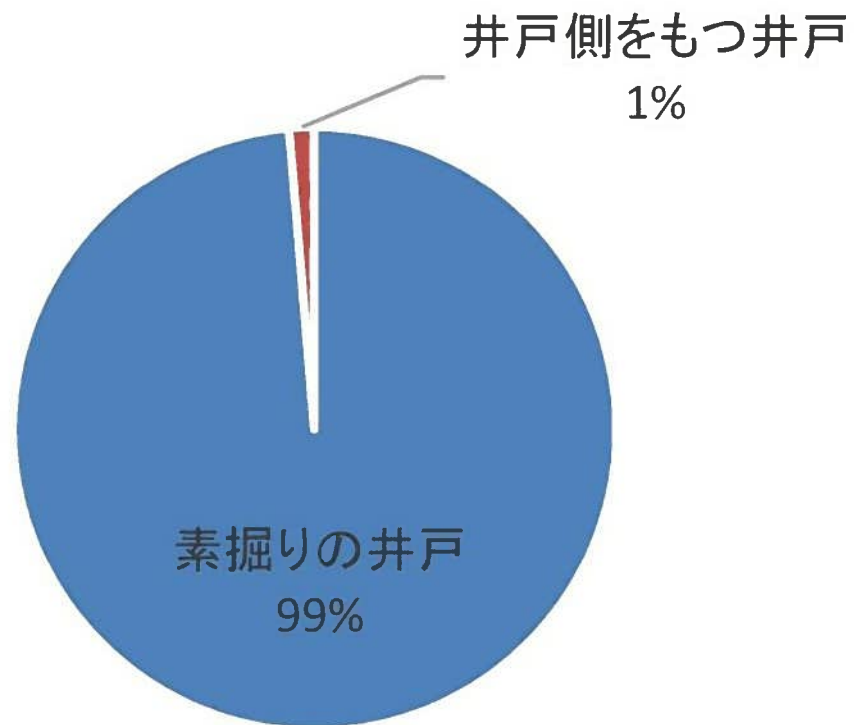


古代(飛鳥・奈良・平安時代)



総数=42基

中世(鎌倉・室町時代)



総数=149基

大沢谷内遺跡における
古代と中世の井戸側をもつ井戸の割合

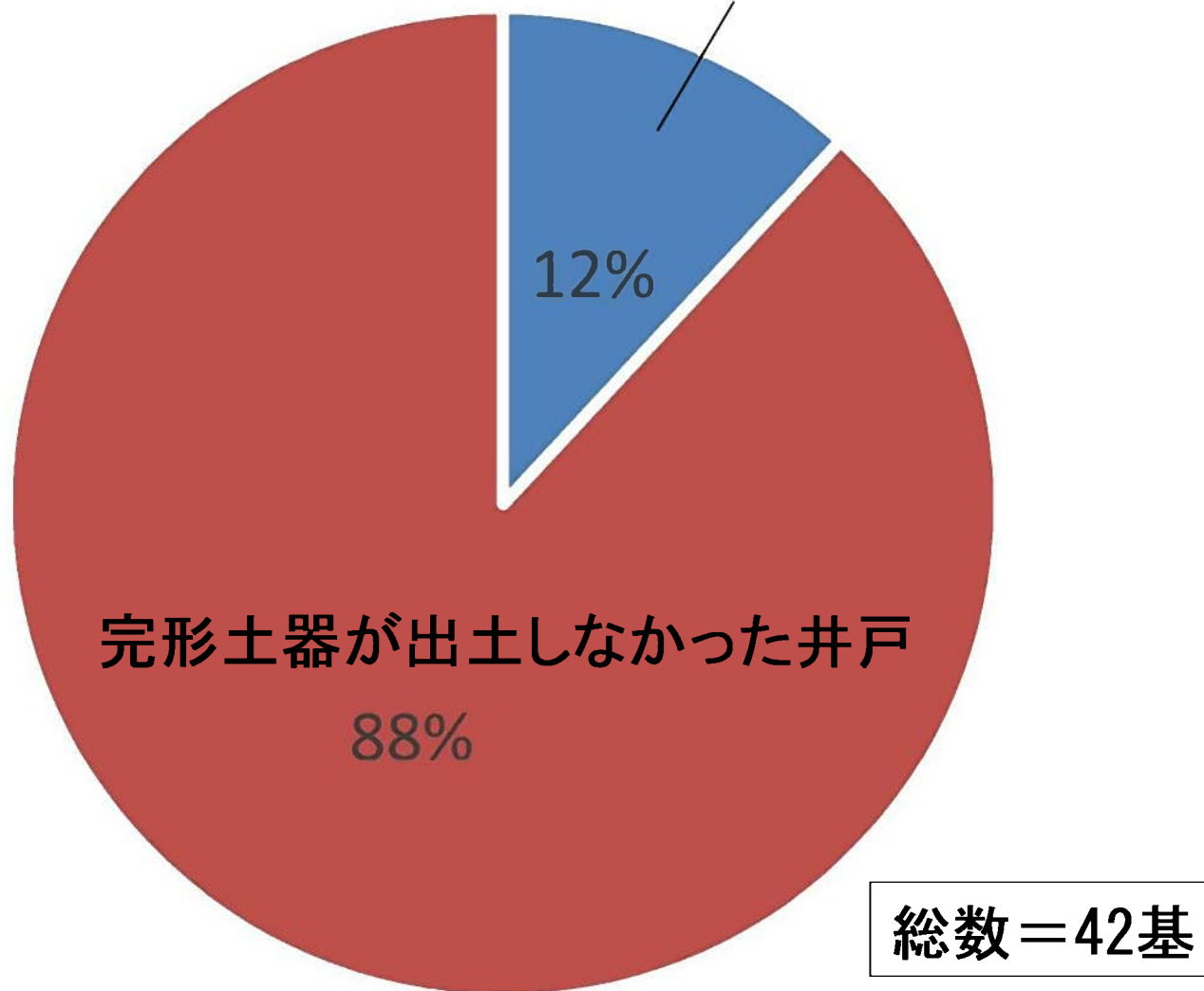


**平安時代の井戸底から出土した須恵器碗
(大沢谷内遺跡8区 SE2383)**

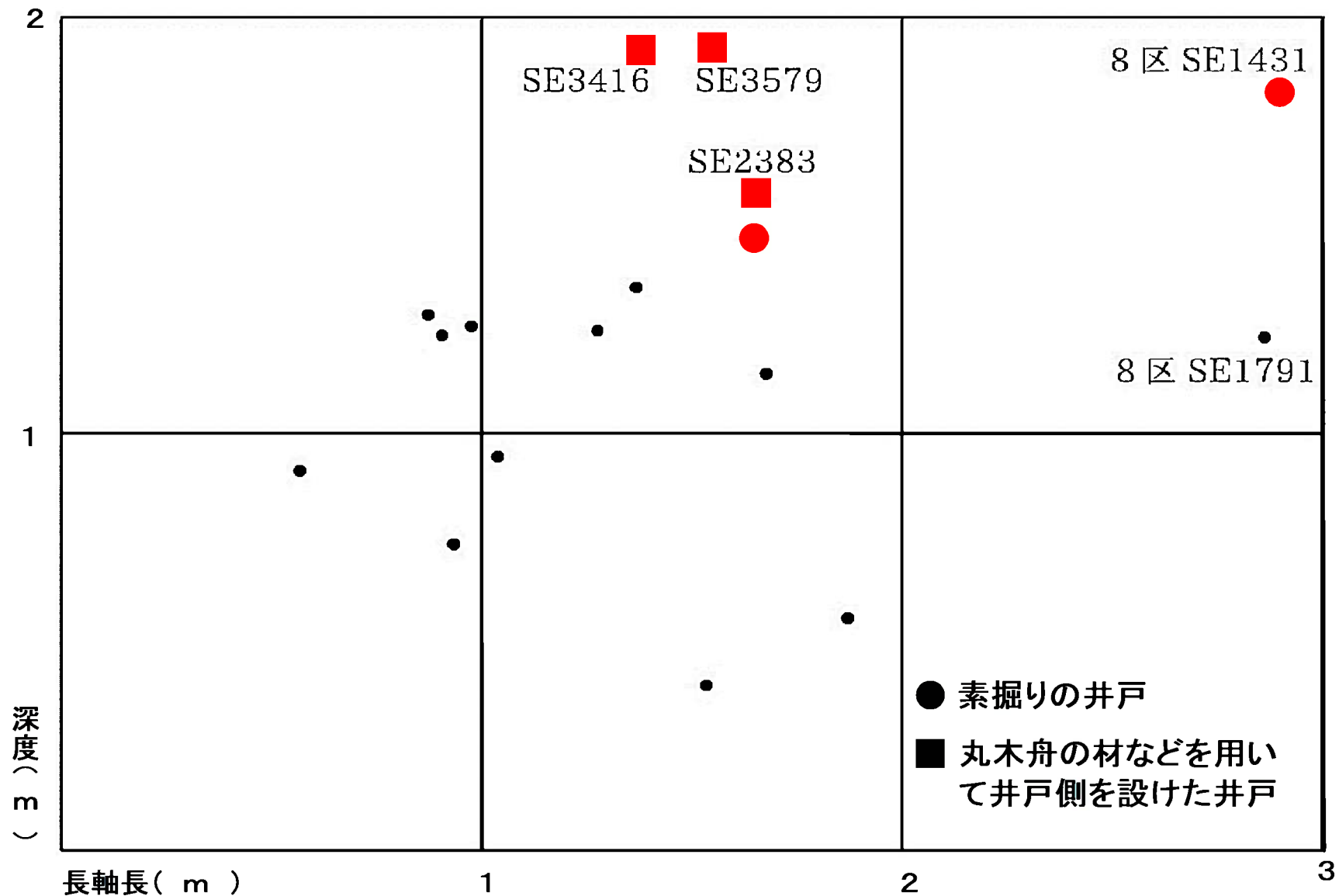


**平安時代の井戸底から出土した土師器椀
(大沢谷内遺跡8区 SE1431)**

完形土器が出土した井戸



古代(飛鳥・奈良・平安時代)における
井戸底から完形土器が出土した井戸の割合



大沢谷内遺跡における古代の井戸の長軸長と深度
 (赤塗りは井戸底から完形土器が出土した井戸)



参考 馬越遺跡(加茂市)



石帯(平安時代)

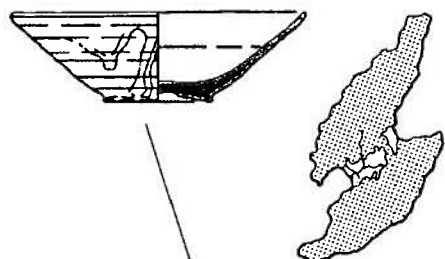
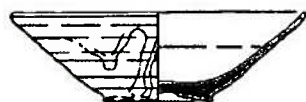


越州窯系青磁(平安時代)

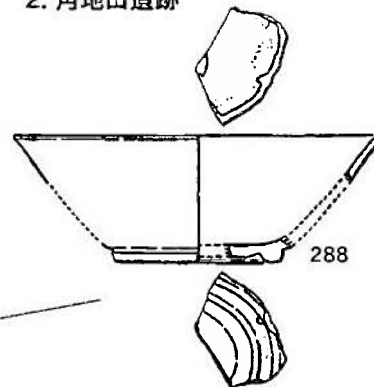
越州窯：中国浙江(せっこう)省



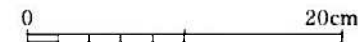
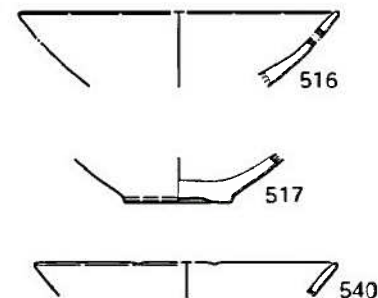
1. 四ツ屋遺跡



2. 角地田遺跡



3. 大沢谷内遺跡



	遺跡名	市町村名	掲載番号	出土個体数	出土位置	時期	文献
1	四ツ屋遺跡	上越市		1	SX47	9世紀後半	〔笹澤2003〕
2	角地田遺跡	糸魚川市	288	1	包含層	10世紀中葉	〔寶川・長澤ほか2009〕
3	大沢谷内遺跡	新潟市	516	2 (または3)	遺構外(耕作土)	9世紀代	本書
			517		遺構外(耕作土)		
			540		遺構外(包含層)		

新潟県における越州窯系青磁出土遺跡

緑釉陶器 椀 猿投窯 9世紀後半



灰釉陶器(長頸壺・有台皿) 猿投窯 9世紀後半



緑釉・灰釉陶器(平安時代)



暗文が描かれた黒色土器の内面(平安時代)



墨書土器(平安時代)

(外面)



(外面)

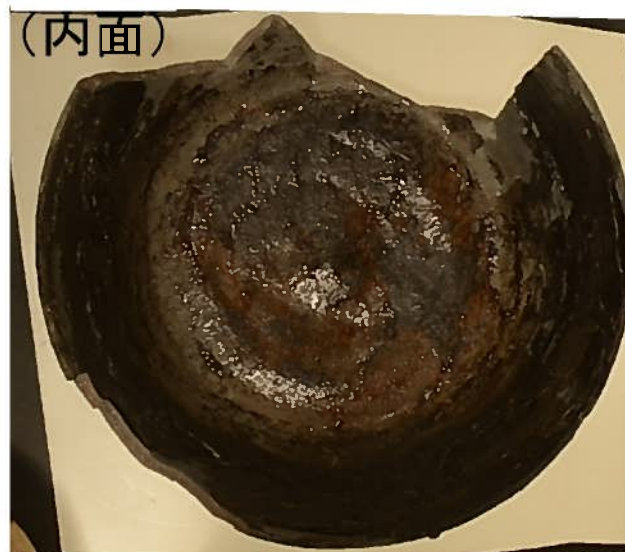


(内面)



アスファルトがついた須恵器
(無台杯)

(内面)



漆がついた須恵器
(有台杯)



漆要具

アスファルト・漆が付着した土器と漆要具(平安時代)

土錘



羽口



(上)

製塩土器



(横)

大沢谷内遺跡の土製品・羽口(平安時代)



大沢谷内遺跡の鉄斧と砥石(平安時代)

(上)

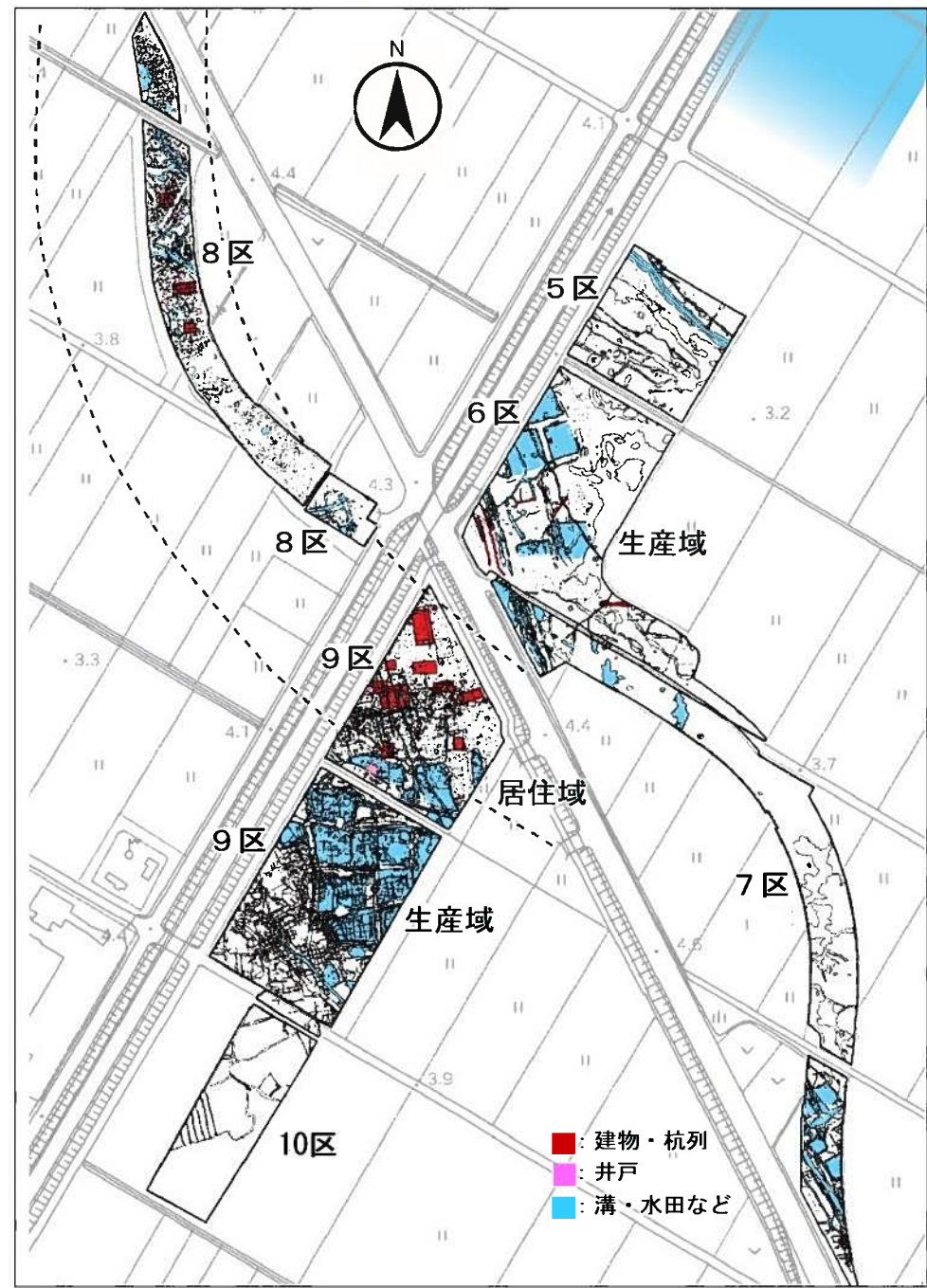
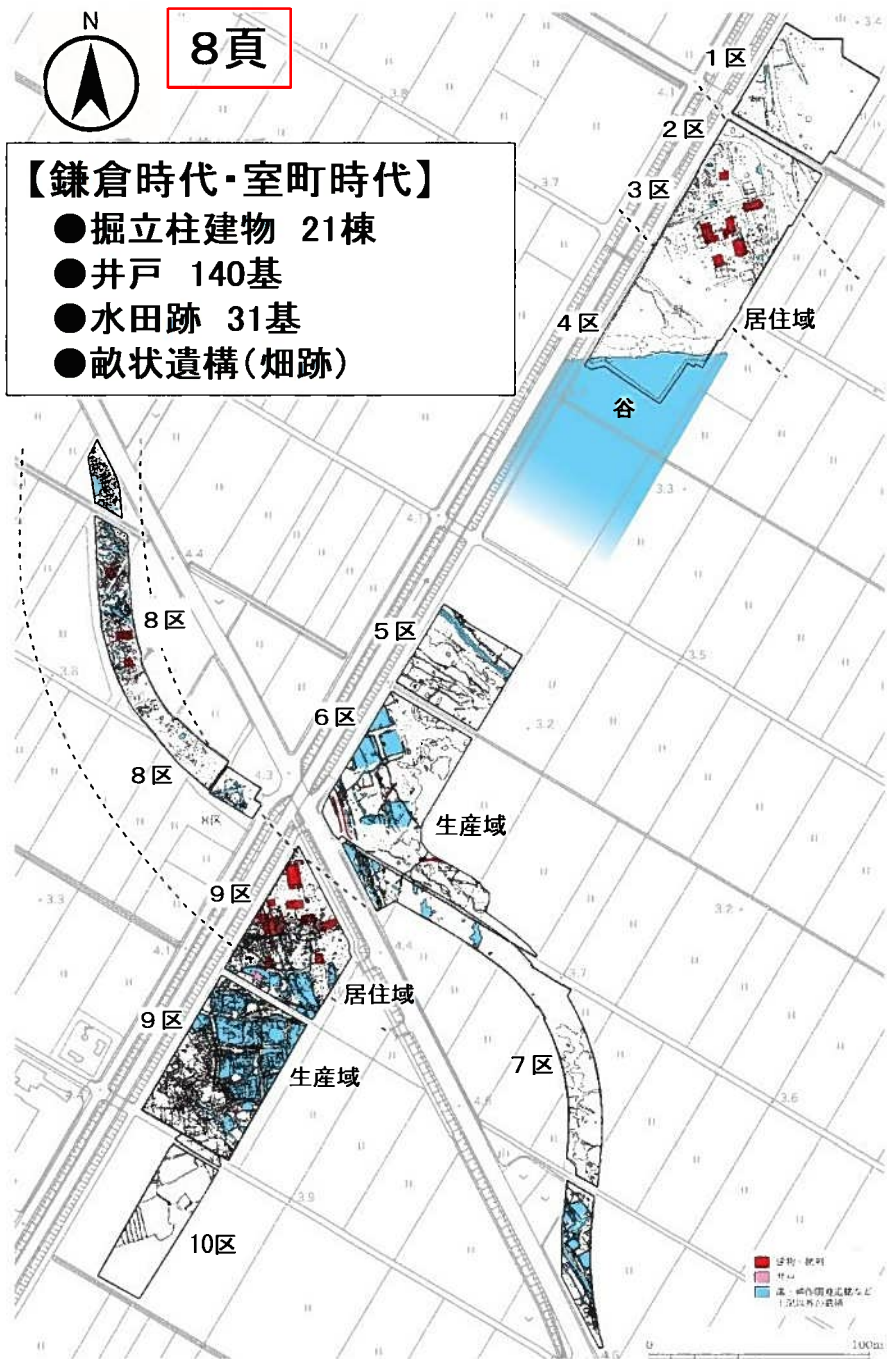


(下)



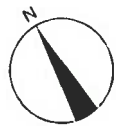
下駄の未成品(平安時代)

6. 鎌倉時代・室町時代 (中世)

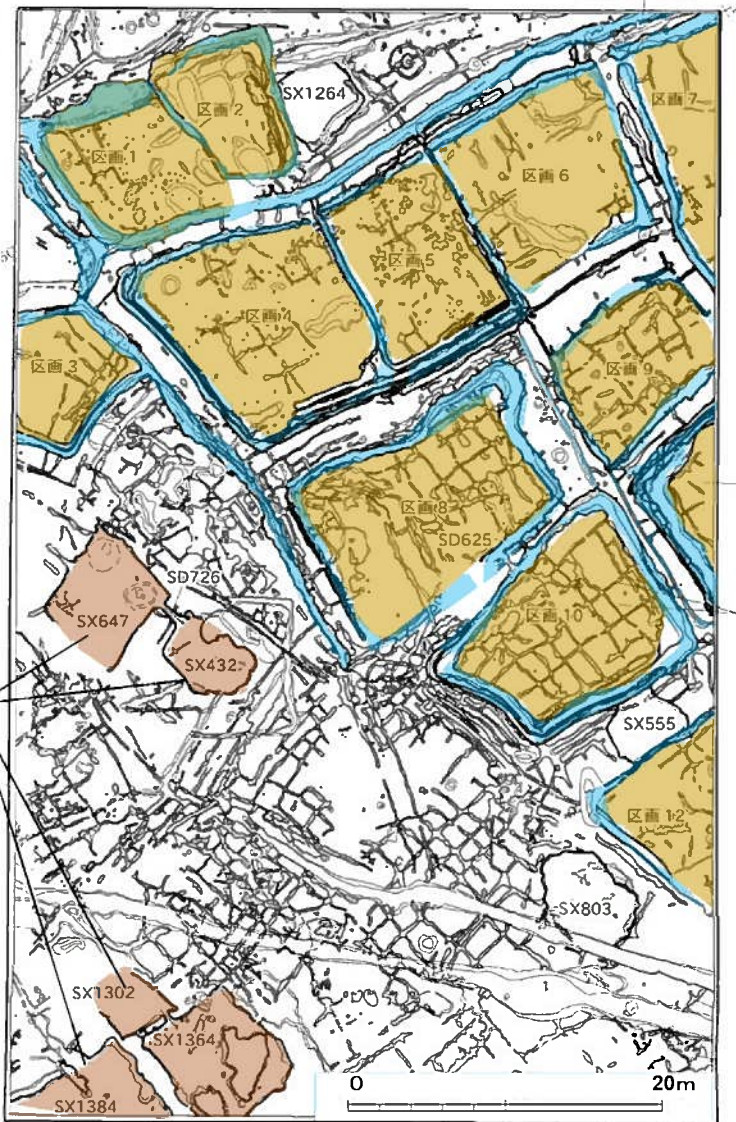


大沢谷内遺跡平面図(中世—鎌倉時代・室町時代—)

高い
↑
標高
↓
低い



SD239・1295



■ : 中世の水田
■ : 用水路

10m

大沢谷内遺跡9区の水田遺構平面図・空中写真

花粉分析による樹木花粉トップ3 (時代別)

	縄文時代	弥生・古墳時代	古代・中世
1	ハンノキ属	ハンノキ属	ハンノキ属
2	ブナ属	スギ	スギ
3	コナラ属コナラ亜属	コナラ属コナラ亜属	コナラ属コナラ亜属

種実同定による草本種実
トップ15(時代別)

	草本種実	
	古代	中世
1	ウリ類	イヌビエ属
2	オニバス	イネ
3	スゲ属	アワ
4	ホタルイ属	キカラスウリ
5	タデ属	ウキヤガラ
6	カナムグラ	アサ
7	ナス	マメ科
8	キク亜科	ホタルイ属
9	ヒョウタン類	シソ属
10	ツリフネソウ	ササゲ属
11	トウガン	タデ属
12	マメ科	ナス
13	イネ	ウリ類
14	ウキヤガラ	スゲ属
15	イヌホウズキ	エゴマ

木製品の樹種トップ5 (時代別)

	縄文時代	古代・中世
1	ハンノキ属ハンノキ亜属	スギ
2	トネリコ属	クリ
3	ヤマグワ	ケヤキ
4	エゴノキ属	ハンノキ属ハンノキ節
5	ヤナギ属	ヒノキ

大沢谷内遺跡・大沢谷内北遺跡の花粉・樹種・種実



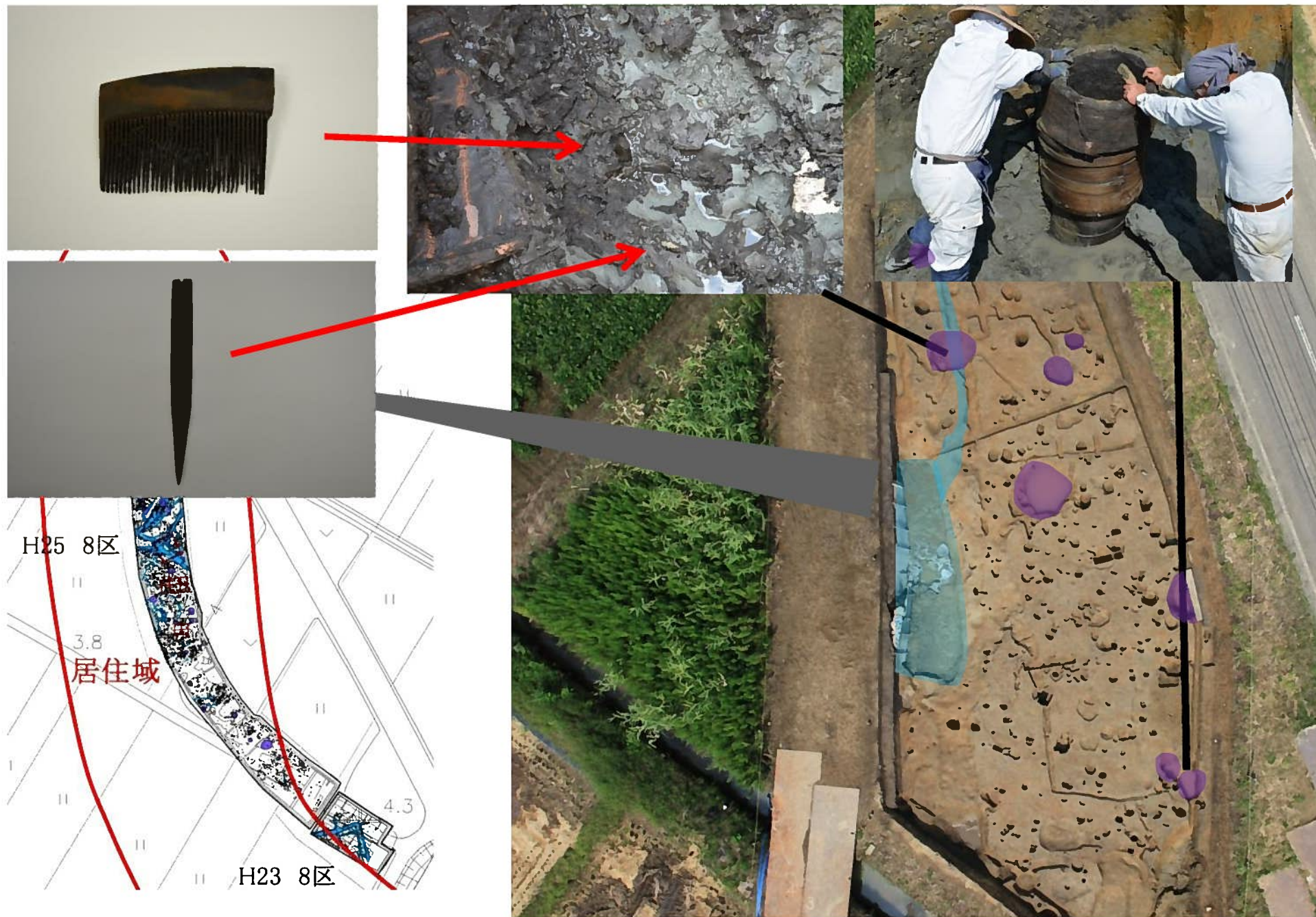
**中世の水溜状遺構調査風景
(大沢谷内遺跡8区 SX1306)**



中世の水溜状遺構の遺物出土状況
(大沢谷内遺跡8区 SX1306)



方形状鉄製品の出土状況(大沢谷内遺跡8区 SE834)



大沢谷内遺跡空中写真(上は東)



井戸側として利用された曲物(中世)



井戸枠として利用された曲物(中世)



搥鉢

(外面)



(内面)



荷札木筒

搥鉢

アスファルトが付着した土器・木製品(中世)

鋤



鋤



楔



結合補助具



木製農工具・結合補助具(中世)

下駄



下駄の未成品



田下駄



下駄・田下駄(中世)

櫛



箸



木製の櫛・箸(中世)



刀子

鉄鏃

釘

釣針

方形状鉄製品

蓋状鉄製品



砥石



金属製品・砥石(中世)

筭

(表)

(裏)



栗形



骨角製品(中世)

漆器



(外面)



(内面)

漆器の未成品

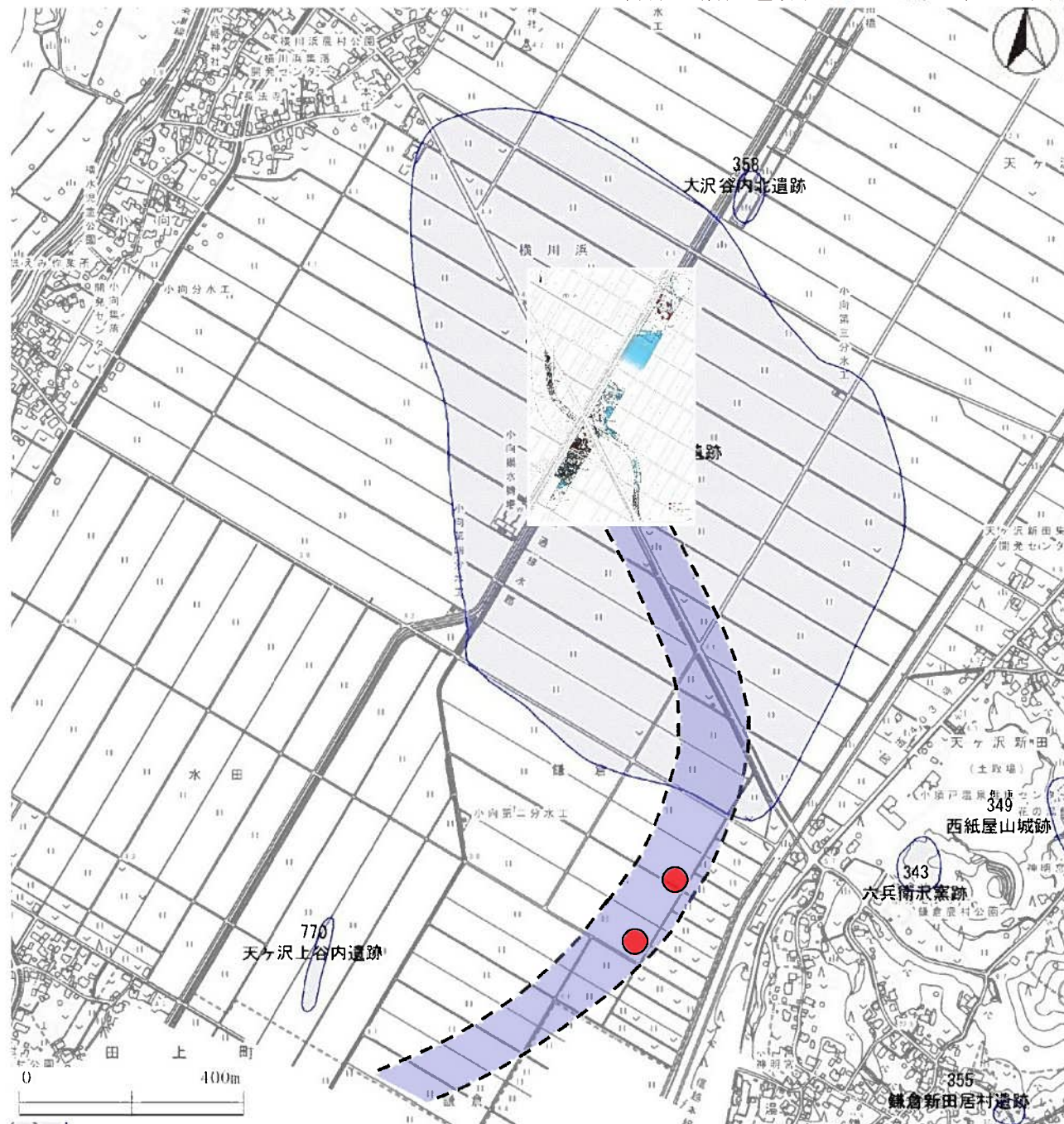


糸巻具

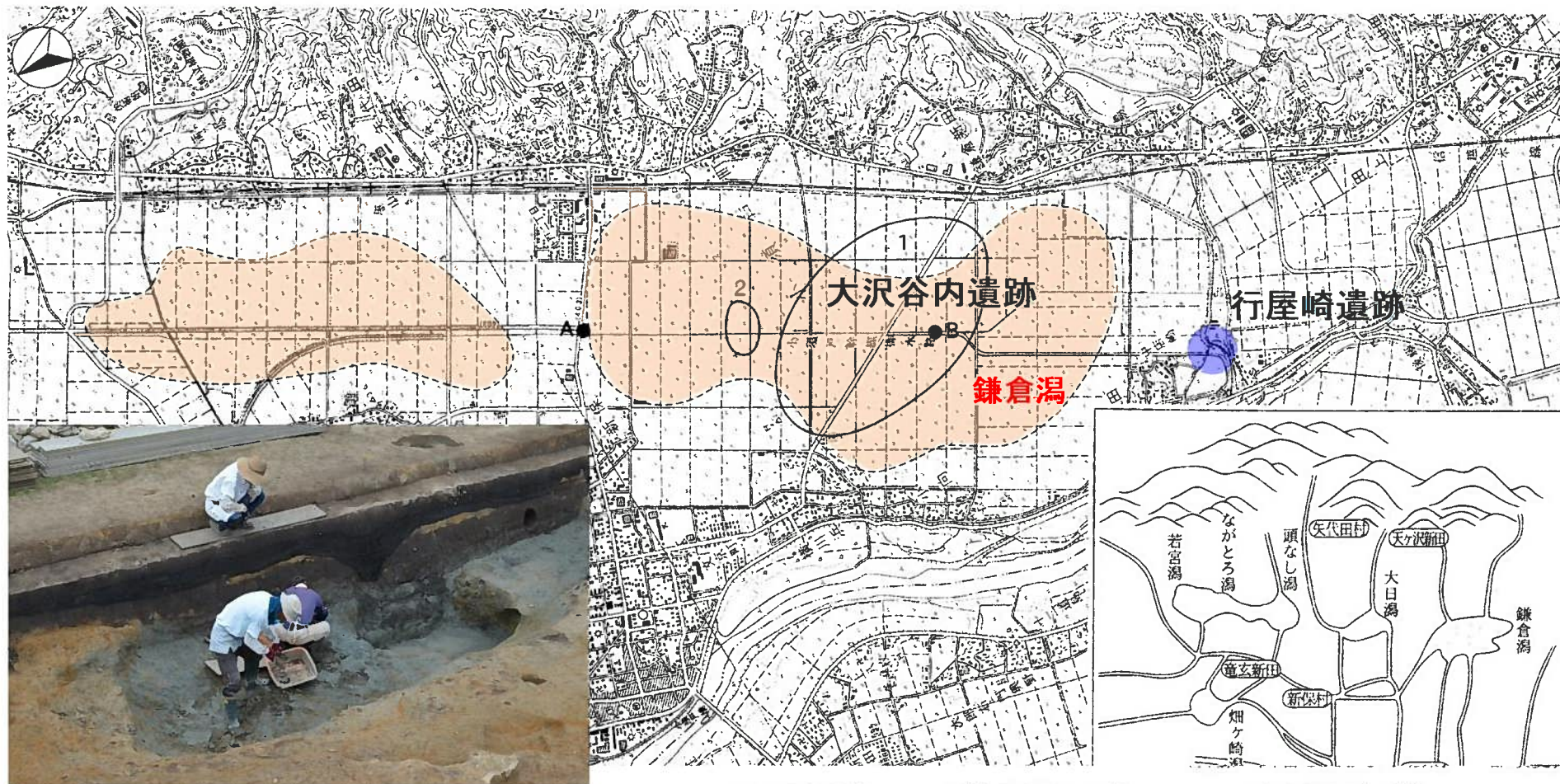


漆器と機織具(中世)

7. おわりに



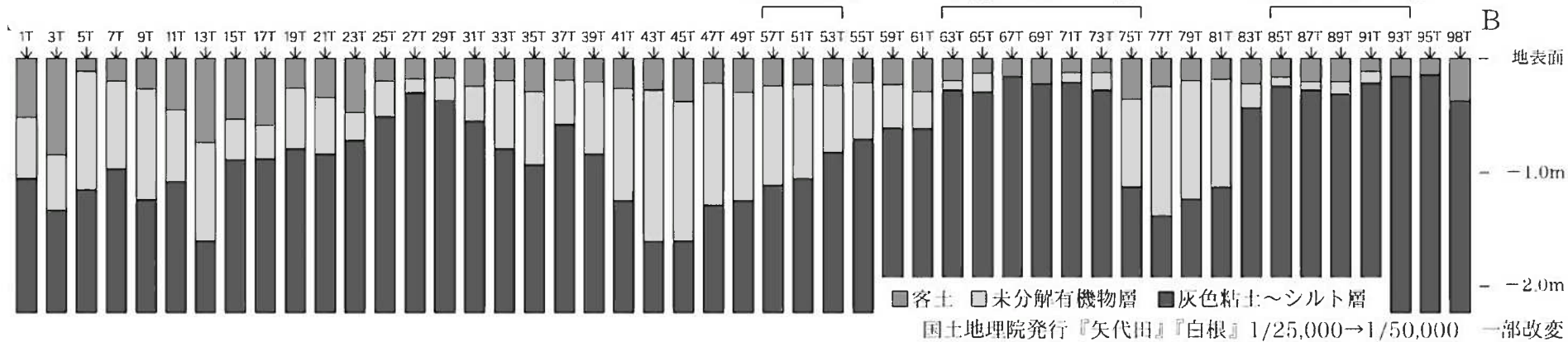
古代・中世における大沢谷内遺跡の微高地推定ライン



大沢谷内北遺跡

大沢谷内遺跡 1～4区

大沢谷内遺跡 5・6区





史跡新津油田金津鉦場跡周辺の石油滲出露頭

新津油田

- ・ 明治7(1874)年～平成8(1996)年の約120年間にわたり操業。
- ・ 明治時代から大正時代にかけて産油量日本一に。
- ・ 金津村の中野貫一氏は日本の石油王とまで呼ばれた。

■平成19(2007)年5月10日

「日本の地質100選」に認定

(新津油田は地質学からみて日本の貴重な自然資源である)

■平成30(2018)年10月15日

新津油田金津鋳場跡が国史跡に指定

(我が国近代エネルギー産業の発展を知る上で重要な遺構が良好な状態で多く残されている)



・大沢谷内遺跡……縄文時代からすでに新津丘陵周辺で石油資源が利用されていたことがわかるとともに、石油が近代までこの地域で脈々と受け継がれてきた重要な天然資源であったことを今に伝える。